



竹田 努 議員
takeda tsutomu

問 自主防災組織等を組織すべきでは

答 計画に基づき組織化へ支援していきます ——— 町長

防災訓練の効果分析はできていますか

本 道に多くの台風が上陸し大きな被害が発生しました。このような事態に対処するためにも次の3点は大切な項目と感じております。町長の見解を伺います。

- (1) 各地域における自主防災組織等の組織化
- (2) 防災訓練の効果を含めた分析実施
- (3) 防災備品の分散化

大森町長

(1) 木古内町防災計画に「自主防災組織指導育成計画」が明記されていますが、現在は担い手不足から防災組織が1町内会のみとなっています。今後各町内会へ制度説明等を行い、組織化へ支援していきます。

(2) 防災訓練の効果と分析については、本年度大平地区で防災訓練を実施し71名の参加

があり、避難訓練のほか消化器の取扱い訓練や簡易担架作成なども実施し認識の高まりを感じています。

(3) 現在、防災備蓄品は木古内中学校と木古内中央公民館の2箇所を

長期間の避難生活を行う場所と位置付けており備蓄しています。各避難場所への配備については順次進めていきます。



今年度港町・大平町内会を対象に実施した防災訓練
普段使うことない消化器の取扱い学ぶ参加者

「いきいきサロン」を地域全体に

高 齢化率45%の町として、地域に住民

主体の「いきいきサロン」を立ち上げるべきと考えます。そのためには、集う場所が必要であり、会館のない地域には「空き家を活用した地域会館」の整備が急務と考えます。町長の見解を伺います。

大森町長

サロンの実施は5地域で、全地域を対象とした集いの場を3回実施しています。本町地区には地域会館がない町内会が存在しており、会館の必要性も理解しています。その場合、公民館などの利用をお願いしていますが、公共施設までの距離があり遠いなどの場合は空き家の活用についても支援をしていきます。